

1

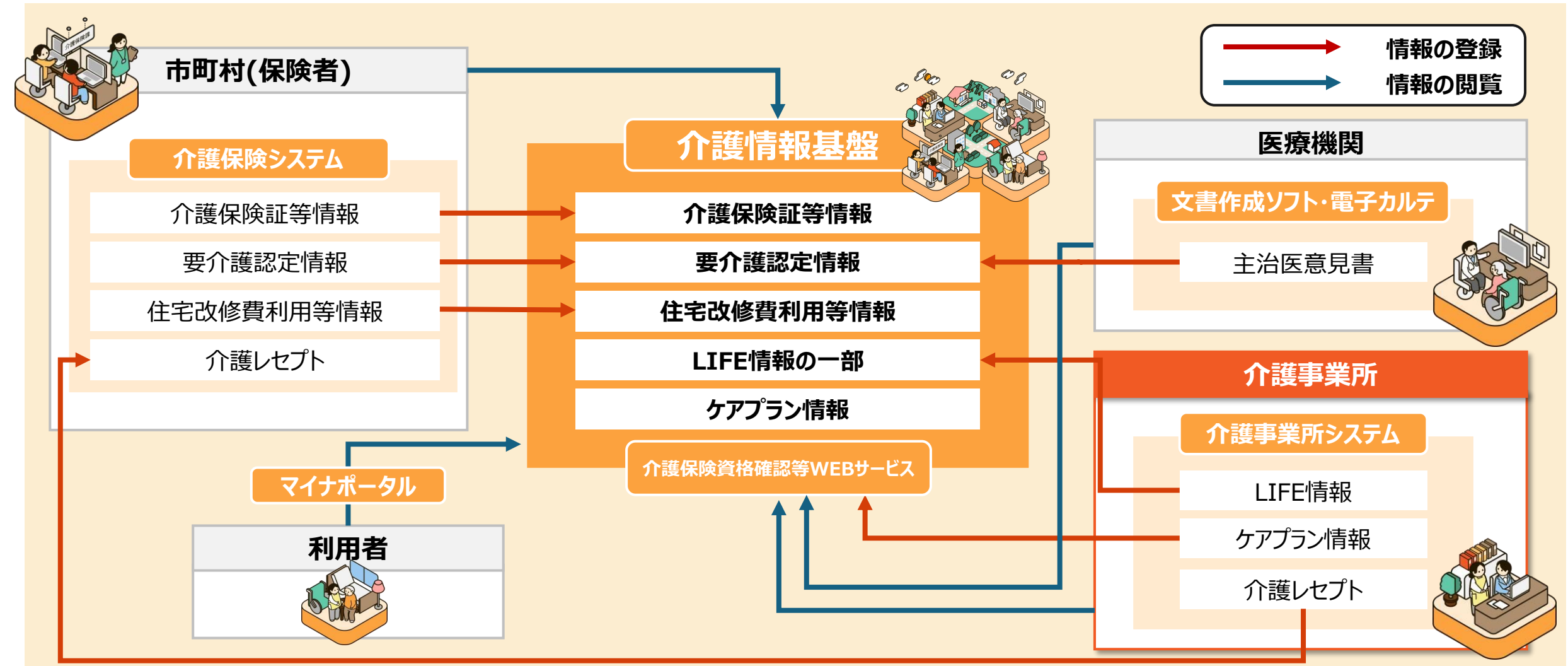
# 介護情報基盤とは



# 1. 介護情報基盤とは

## 全体の概念図

介護に関わる各システムの情報が、介護情報基盤に集まり、閲覧・登録・管理できるようになります。



2

## 介護事業所のみなさまが実現できること



## 大きな3つの価値

介護情報基盤の導入で介護事業所が実現できる価値を3点にまとめました。

### ① いつでも情報を確認



介護事業所職員やケアマネジャーが、  
要介護認定に必要な情報や、  
ケアプラン作成に必要な情報などを  
タイムリーに確認できます。

### ② やりとりの負担を軽減



給付に必要な情報をデジタル上で  
確認できるため、利用者・家族に情報を  
探していただく依頼をしたり、  
市町村へ問い合わせいただいたりする  
負担が減ることが期待できます。

### ③ 質の高いケア



介護に関する情報収集が  
効率化されることで、本来的な業務に  
集中できるようになり、  
介護を受ける人にさらに寄り添った  
サービスを提供できます。

3

## 具体的な業務の変化

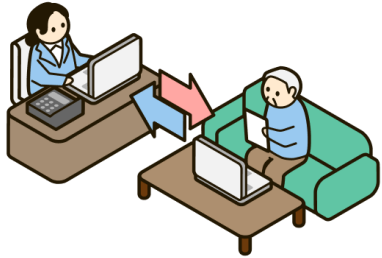


## 具体的な業務の変化（全体）

介護事業所のみなさまの業務の具体的な変化について、  
以下のカテゴリ別に、これまで・これからを比較しながらご説明します。

1

### 資格情報等の確認業務



- ・ 給付に必要な証書の収集
- ・ 証書の更新確認

2

### 要介護認定事務



- ・ 要介護認定の申請受付
- ・ 認定進捗の確認
- ・ 認定結果の受領・確認
- ・ 認定関連書類の取得

3

### 住宅改修費・福祉用具購入費の 利用状況確認



- ・ 利用状況問い合わせ

4

### 居宅サービス計画依頼届出の代行申請等



- ・ 本人確認・届出提出



## 介護情報基盤の活用に必要なステップ（重要）

### ①市町村がデータを連携

- ・市町村ごとに時期が異なる
- ・大分市は、連携データ項目やスケジュールが特殊

### ②介護事業所が介護WEBサービスを導入

- ・インターネット端末を用意 ⇒ 電子証明書をインストール ⇒ 介護WEBサービスの設定 など
- ・導入サポート事業者の活用が可能（事業者一覧参照） ⇒ 国の助成金あり

### ③介護事業所が利用者に説明 & 情報閲覧の同意取得

- ・説明用資料は編集できる形で配布を検討中（活用は任意）
- ・4/1付け申請分から、認定申請書の様式変更（事前に配布します）

### ④介護事業所が以下のどちらかの方法で介護WEBサービスに利用者を登録

- ・マイナンバーカード読み取り（医療保険証登録） ⇒ カードリーダー & アプリの準備 ⇒ 助成金
- ・4 情報入力（保険者番号・被保険者番号、カナ氏名、生年月日、性別）

# 大分市の介護DXスケジュール

令和8年1月

大分市長寿福祉課

年度	令和7年度	令和8年度		令和9年度
イベント	▼R7.10：開始 R 7 助成金	▼R8.3.13：✕切 ▼R8.4：認定申請書様式変更 ▼R8.4：介護情報基盤スタート	▼R8.12ごろ：空白期間のお知らせ ▼R9.3.23：大分市システム改修 ▼R9.5ごろ：連携再開	
日程	令和7年1月14日～令和8年3月末	令和8年4月～令和9年3月22日	空白期間	令和9年5月ごろ～
対象事業所	先行実証参加事業所	全事業所		全事業所
閲覧情報	①被保険者証 ②負担割合証 ③負担限度額認定証 ④認定の開示資料(調査票・意見書) ⑤介護認定進捗状況 ⑥住宅改修費利用状況 ⑦福祉用具購入費利用状況	①被保険者証 ②負担割合証 ③負担限度額認定証 ④認定の開示資料(調査票・意見書) ⑤介護認定進捗状況 ⑥住宅改修費利用状況 ⑦福祉用具購入費利用状況		①被保険者証 ②負担割合証 ③負担限度額認定証 ④認定の開示資料(調査票・意見書) ⑤介護認定進捗状況 ⑥住宅改修費利用状況 ⑦福祉用具購入費利用状況
電子提出	⑧居宅届出	⑧居宅届出		⑧居宅届出
閲覧条件	マイナ	マイナ or 4情報		マイナ or 4情報

※1：現時点の大分市のスケジュールです。各自治体（保険者）により状況が異なります。→介護情報基盤ポータルサイト参照

※2：令和8年度以降の国の助成金は未定です。

※3：認定申請書の新様式を事前にお渡ししますので、4/1付け申請分からは新様式でご提出をお願いいたします。

※4：「各閲覧情報が何曜日に更新される」といった詳細な情報は、別途お知らせします。

※5：斜線が入っている連携項目は、その時期においては連携していません。

※6：居宅届出は令和9年3月（大分市標準化）以降、運用変更となります。詳細は、別途お知らせします。

※7：『マイナ』→医療保険証登録済のマイナンバーカードの読み込み

※8：『4情報』→保険者番号・被保険者番号、カナ氏名、生年月日、性別の入力

※9：主治医意見書の電送など、他にも介護DXの連携はありますが、介護事業所様に直接関係ある情報に絞っています。



## カードリーダー購入の判断ポイント（参考）

### ●制度面

- ・現時点では、マイナ読み取りと4情報入力で閲覧できる情報は同じ（今後は未定）
- ・カードリーダー購入やアプリ設定に関する助成金がいつまであるか不確定

### ●導入支援面

- ・カードリーダー購入やアプリ設定を含めて、助成金の範囲内（要確認）
- ・現地対応を依頼すると自己負担が発生する可能性がある

### ●事業所運用面

- ・医療保険証登録済のマイナカードを用意する手間がある
- ・4情報は入力の手間がある
- ・4情報だと、カナ等で不一致になると閲覧できない

## 利用（閲覧）する画面のイメージ